



# つながれ KENPOKU

令和8年1月13日 発行

今回は、公民館訪問の第4弾として、二本松市及び桑折町の公民館における取組について紹介します。

**公民館訪問** 11月 6日 二本松市岩代公民館  
11月 19日 桑折町中央公民館

## 【二本松市岩代公民館】

## 【「すきま時間」を豊かにするために】



二本松市では「地域にひらかれ、地域と連携し、地域に資する公民館」を目指して公民館活動を展開しています。岩代公民館は、旧岩代町の各地区公民館の中心的な役割を果たしています。

地域住民が自主的に活動している「岩代総合美術講座」は、25年前から継続実施されている講座です。水墨画、デッサン、彫刻、切り絵など多岐にわたり、作品は公民館内に展示されています。また、今年度で36回目を数える「岩代ロードレース大会」は、公民館、地域が一体となって運営する大会で、岩代スポーツ振興会と連携して開催しています。子どもからお年寄りまで集い・学び・交流できる場の提供と、地域の方々の生活における「すきま時間」を豊かにする講座を企画、実施しています。

## 【桑折町中央公民館】

## 【「出会い・ふれ合い・学びあい」を大切に】



桑折町中央公民館は、桑折町内4つの地区公民館を統括する公民館です。公民館には屋内温水プール、多目的スタジオがあり、体育施設も隣接しています。生涯学習の理念に基づいて、「町民の学び・地域づくり」のために、幼少期から高齢者を対象とした幅広い事業を実施しています。

特に成人教育事業で行われている「成人講座」は、講座ごとに申し込むオープン講座形式で開催されており、多くの町民の方が申し込む講座です。「ボッチャ大会」「スマートフォン講習会」「防災教室」「読み聞かせ講座」「大人の社会科見学(消防車・県警本部)」など、講座内容は多岐にわたります。昨年度も39講座が開講されました。

町民の皆さんが参加者同士でコミュニケーションをとりながら、楽しく学ぶことで、新たな発見とともに生活に潤いを与えるために取り組んでいます。